

母親の血液型が Bm であったために 子の取り違いを疑われた例

川崎医科大学 法医学教室

三上 芳雄, 福岡 純男

(昭和51年9月22日受付)

An Infant Case Suspected of Mistyping Because of Mother's Blood was of Bm Type

Yoshio Mikami and Sumio Fukuoka

Department of Legal Medicine, Kawasaki Medical School

(Accepted on Sept. 22, 1976)

ABO 式血液型について表検査で両親とも O 型, 子供が B 型であったためにある産婦人科医院で子供が生まれた当時取り違えられたのではないかと疑われたが, 裏検査で母親が B 型, 即ち Bm 型であった例について報告した。

A report was made of a case whose parents' blood was considered to be both O type in the cell grouping for ABO blood type, and the child's blood was of B type at a certain obstetric and gynecological clinic. However, the serum grouping of ABO blood type proved mother's blood to be of B type; namely, Bm type.

はじめに

輸血その他において血液型の検査, とくに ABO 式血液型の検査の必要ないことはいうまでもない。この場合, 表検査と裏検査のおこなわれることが常識であり, その検査成績はつねに両者の方式に一致するものと考えられてきた。しかし最近はその方式に一致しない例も次第に報告されてきている。このうちに Am, Bm, ABm 型と呼ばれる variant があり, 表検査では A または B 因子を欠いているが, 裏検査で抗 B (β) または抗 A (α) 凝集素のみとめられるものである。村上¹⁾の報告によると日本では Bm 型が多く, 同氏の調査成績によると Bm 型は B 型 23,904 例中 23 例, Am 型は A 型

56,521 例中 4 例, ABm 型は AB 型 14,395 例中 1 例があったと称され, 白人では Am 型の出現率が圧倒的に多いと報ぜられている。私どもはさきに Bm 型のヒト血痕について吸収試験, 解離試験, 型的二重結合法においても O 型と判定された例を報告し²⁾, 法医学上血液型検査におけるの注意を喚起した。

ところで私どもは母親が Bm 型であったために, 出産のため入院した産婦人科医院の医師が子を取り違えたのではないかと疑われた事件についての血液型を検査したので報告する。

事件の概要

岡山県の某産婦人科医院でおこった事件であ

る。沢○夫妻間の2歳になる子供(♂)を保育園に入園させるため子供の血液型をしらべてもらったところ、表検査でB型と判定された。ところが夫妻はともにO型であり、B型の子供は生まれるはずがないということが問題となり、夫婦間の問題、さらには出産時入院していた産婦人科医院において子供が取り換えられたのではないかとの疑いがあった。そこで該産婦人科医院にかけあったが、医院では出産時には万全の処置をとっているから子供を取り換えることは絶対にないと反論して、両親と子供の血液型をしらべる結果となり、私どもに検査が依頼された。

ちなみに、疑われた子供の入院当時の該医院

Table 1

姓	出生後入院日時	父	母	子
沢 ○	7.23—7.29	O	O	B
守 ○	7.19—7.25	A	A	
相 ○	7.23—7.29	A	A	
田 ○	7.24—7.29	A	A	
高 ○	7.24—7.30	A	O	
宮 ○	7.24—7.30	A	A	
朽 ○	7.26—8.1	O	A	
山 ○	7.26—8.1	A	B	O

の出産児は Table 1. のごとくであり、表中に血液型の未検査児が多数存在しているが、これは父母の血液型の組み合わせからB型の生まれ得る可能性は山○夫妻のAとB型間の子供だけであり、もしも取り違えていたものとするれば、その間に生まれた子供、すなわちO型の子供以外にはないと考えられた。しかし医院側では絶対にこれを否定する。一方山○夫妻もこれを否定し、子供は両親の顔貌によく似ていると主張する。この沢○および山○両夫妻と各その間の子供についての検査がおこなわれた。

検査成績

医院側の依頼によりこの2組についての血液型ならびに血清型を検査した成績は Table 2. のごとくである。

表のごとく、沢○および山○各両親と子供間の血液型および血清型の遺伝関係にはなんら矛盾のないことがわかった。ただ沢○群において父がO型、母がBm型、すなわち試験法でも表検査はO型、裏検査ではB型と判定され、B型の variant である Bm 型であり、子供がB型であったことから取り違いを疑われたものである。

Table 2

姓		ABO 式 血液型	MN 式 血液型	Q 式 血液型	E 式 血液型	Rh 式 血液型	S 式 血液型	Hp 式 血清型	Gc 式 血清型
沢 ○	父	O	MN	Q	E	CCDEe	S(O)	2-1	2-1
	母	Bm	MN	Q	E	CcDee	S(B)	2-2	2-1
	子	B	MN	Q	e	CcDEe	S(B)	2-2	1-1
山 ○	父	A	M	Q	E	CcDEe	S(A)	2-1	2-1
	母	B	MN	Q	E	ccDEe	S(B)	2-2	2-1
	子	O	MN	Q	E	CcDEe	S(O)	2-2	1-1

むすび

ある産婦人科医院で ABO 式血液型について表検査で両親ともO型で子供がB型であったた

めに子供の取り違いを疑われたが、裏検査で母親がB型、すなわち Bm 型であった例について報告した。

文 献

- 1) 村上省三：ABO 式および MN 式血液型検査の技術。臨床病理，臨時増刊特集 14：1—15，1967。
- 2) 三上芳雄，石津日出雄：Bm型についての採証学的検査成績。科警研報告，21：121—125，1968。